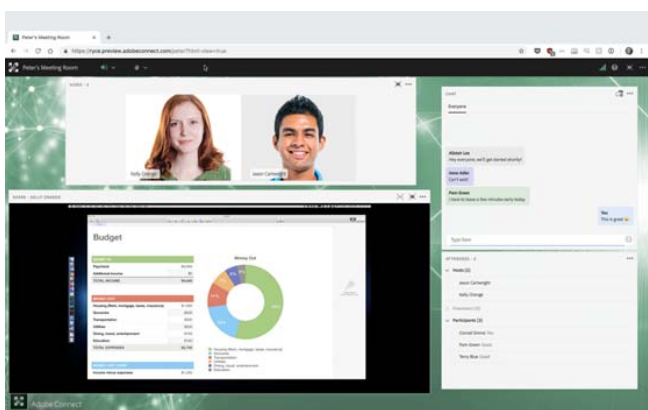


製品・サービス動向-国内

■サムライズ:アドビシステムズ社製 Web セミナーシステムの最新バージョン「Adobe Connect 10」の提供を開始

(10月25日)

株式会社サムライズ(<https://www.samuraiz.co.jp/>) (東京都品川区)は、アドビシステムズ社製 Web セミナーシステムの最新バージョン「Adobe Connect 10」の提供を開始した。



Adobe Connect (サムライズ)

Adobe Connect は、インターネット環境があればあらゆるデバイスからブラウザを利用して Web セミナー・Web 会議に参加することができるのが特徴。2004年の発表以来、企業や教育機関、政府機関など世界中で活用されており、今年年間70億分利用されているという。

Adobe Connect 10の新バージョンにおいてHTML5に対応したことで、ブラウザにプラグインを追加する必要がなくなった他、セキュリティレベルが向上し、Web セミナー・Web 会議への参加がより安全で簡単になった。

また、高画質オプション (HD 720p) が追加された

ことで、きれいな画質でより臨場感のある Web セミナー・Web 会議の開催が可能になった。加えて、画面に表示する画像の大きさに合わせて画質を自動調整することもできる。参加者の帯域に負担をかけることなく、高画質を実現している。

今回の最新版で追加されたもうひとつの機能は、シングルサインオン (SSO)。SAML 2.0 ベースの IDP によるシングルサインオンを利用できるようになった。Okta など SAML ベースの認証サービスと Adobe Connect を組み合わせることで、認証アカウントの一元管理が可能になった。これにより、ユーザの管理負担を軽減し、不正アクセスなどのセキュリティリスクを軽減することができる。

サムライズはアドビシステムズ社の Web セミナーツール Adobe Connect を取り扱う国内で唯一の特別販売代理店。これまで Web セミナー、Web 会議、eラーニングの導入や運用のコンサルティングを通じて多くの企業や教育機関、政府機関を支援してきた。これらの支援の実績を活かし、同社では Web セミナーをマーケティング活動やビジネスに有効活用するためのコンサルティングサービスを提供している。担当窓口はストリーミングメディアビジネスユニット。

■シネックスインフォテック: ASUS 社製「ASUS Hangouts Meet ハードウェアキット」を発売

(10月22日)

シネックスインフォテック株式会社 (<https://www.synnexinfotec.co.jp/>) (東京都江東区) は、ASUS JAPAN 株式会社 (<https://www.asus.com/jp/>) (東京都千代田区) の「ASUS Hangouts Meet (ハング

アウトミート) ハードウェアキット (CHROMEBOX3-N7060U) 」新製品を 10 月 19 日より販売開始した。



ASUS Hangouts Meet ハードウェアキット
(シネックスインフォテック)

Hangouts Meet ハードウェアは、さまざまな形状・広さのミーティングルームで高品質のビデオ会議を可能にするコストパフォーマンスの高い製品で、そのキットには、タッチスクリーンコントローラー (10 インチ IPS 液晶)、スピーカーマイク (4 つの指向性マイク、收音範囲半径約 3m)、4K センサー搭載 Ultra HD カメラ (120° 視野角)、ASUS Chromebox (ASUS Chromebox3 使用、intel Core i7-8550U、VP8/Vp9 モジュール搭載) の 4 つのコンポーネントが含まれる。

今回の特徴のひとつとしては、Hangouts Meet ハードウェアの登場により、G Suite の機能強化も図られたという点。G Suite エンタープライズ版では Hangouts Meet ビデオミーティングを記録してクラウドに保存できるようになり、簡単に共有、表示、さらには高速モードでの再生が可能になった。

今後ミーティングミーティングの参加者も最大 50 人をサポートするようになるとしている。

端末価格についてはオープン。市場想定価格は 28 万円 (税別) で初年度ライセンス料を含む。サポートの面では、年間利用料金 (デバイス 1 台につき 35,000 円) を支払うことで、管理コンソールを用いた一元管理と 24 時間 365 日の日本語サポートのサービスも受けら

れるようになっている。次年度以降、年間 35,000 円のライセンス更新料が必要になる。

なお、ASUS JAPAN 株式会社からも今回の製品に関するプレスリリースが 10 月 19 日に発表されている。

■ キヤノン IT ソリューションズ: Web 会議システム「IC3(アイシーキューブ)」資料共有機能を強化

(PR Times: 10 月 17 日)

キヤノン IT ソリューションズ株式会社 (<https://www.canon-its.co.jp/>) (東京都品川区) は、Web 会議システム「IC3(アイシーキューブ)」の資料共有機能を強化したと発表。

IC3 は、複数のカメラからの映像を撮り込みひとつに合成して送信することで、話者の表情だけでなく手元の資料や会場全体の雰囲気伝えることができる。

今回の発表では、話し合いに必要な情報を持ち寄り、事前に作成した資料を見比べたりしたいというニーズに応じて、PC 上の資料もビデオウィンドウ内に表示して共有する機能を強化した。

この機能を使うことにより、会議参加者はカメラ映像と資料画面を簡単に切り替えることができ、互いの視点の様子を把握しつつ共有した資料をもとにした議論が可能になるという。

同社では、コミュニケーション活性化、コスト削減、働き方改革を検討している企業に対して IC3 を提案し、2020 年までに新規に 300 社への導入を目指す。また、これまでの Web 会議システム環境構築ノウハウを活かし、顧客に合わせた音声・映像品質の調整、周辺機器の提案を推進していく。

今回発表された「IC3 Ver.11.05」の価格について。クラウドサービス初期費用が 10 万円から、クラウドサービス年間費用が 100 万円からとなっている。契約は年単位となっており、これは 10 同時接続端末分のサービスを 1 年間契約した場合の価格となる。オンプレ

レミスタイプも提供している。

製品に関する窓口は、通信コミュニケーションソリューション本部。

■ブイキューブ：オカムラと「TELECUBE by OKAMURA」を共同開発、12月より販売開始

(10月30日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都目黒区) と株式会社オカムラ (<http://www.okamura.co.jp/>) (神奈川県横浜市) は、「テレキューブ」の新型として「TELECUBE by OKAMURA」を共同開発し、12月より販売を開始する。



TELECUBE by OKAMURA 一人用 (ブイキューブ)

“いつでも”、“どこでも”働けるテレワークの普及は、働き方改革に有効な手段として注目が高まっている。しかし、テレワークに利用されることが多いカフェやサテライトオフィスといった空間は、セキュリティの面で課題があるという。秘匿性のある情報を取り扱いはがらの資料作成や電話などの仕事には向いておらず、テレワークをするための理想的な場所が不足しているのが現状。テレキューブは、こうしたテレワーク難民を抱える課題を解決するために開発されたスマート電話ボックス。

オフィス家具や建材製品等を製造・販売するオカム

ラは、従来のテレキューブのセキュリティ性に加え、働く場としての快適性と安全性の更なる向上を目指して、TELECUBE by OKAMURA をブイキューブと共同開発した。

特長としては以下の通り。

(1) 椅子とデスクはオカムラがオフィス家具製造の実績で培った人間工学の知見に基づき、長時間使用しても疲れにくい高さや広さ、座り心地を追求した。

(2) 建材市場におけるノウハウから、主たる構成部材にスチールや不燃クロス、ガラスウールなどの不燃材を採用することで防火性を強化し、安全性を向上させている。

(3) 遮音性の高い建材仕様のガラスドアを用い、内部には映画館等でも採用されている高性能の吸音パネルを設置することで、横並びや背中合わせなど、レイアウトの自由度を高めたデザインとなっている。

ビジュアルコミュニケーションでテレワークを推進するブイキューブと、オフィス環境の改善による効率的な働き方を提案するオカムラは、今回の新製品の提供を通してテレワークに適した環境を提供し、働き方改革の推進に貢献していく。

※テレキューブ関連記事：定期レポート 2017年8月15日号

■フェニックスエンジニアリング：ワイヤレスマイク電話会議システム「エリスステーション」シリーズのニューモデル「VCS702J」を発売

(@Press：10月30日)

株式会社フェニックスエンジニアリング (<http://www.phoenixeng.co.jp/>) (埼玉県入間郡) は、ワイヤレスマイク電話会議システム「エリスステーション」シリーズのニューモデル「VCS702J」を10月30日に発売する。

エリスステーションは、ワイヤレスマイクを標準で搭載し、本体から取り外して自由に移動し配置できることが特長の音声会議用電話機で、VTech Telecommunications 社（香港）が開発している製品。[\(http://businessphones.vtech.com/\)](http://businessphones.vtech.com/)



VCS702J(フェニックスエンジニアリング)

VCS702Jは、2個のワイヤレスマイク(1.9GHz DECT 準拠方式)を標準で搭載しており、また本体にも1個の内蔵マイクを備え、合計3個のマイクを配置することにより10人程度までの小規模の会議室で最適に使用できるよう設計されている。アナログ電話回線用。

会議室のレイアウトや参加人数に応じてマイクを動かしてフレキシブルな使い方ができるため、これまでの会議用電話機では難しかった本体から離れた位置からの発言でも収録することができ、また会議室の中で移動しながら話すことも可能となる。大声で話さなくても安定した音量で音声が届くため、自然な会話で会議ができると高い評価を得ているという。

音質の鍵を握っているのは、VTech 独自の「OrbitLink(オービットリンク)」ワイヤレステクノロジー。デジタルミキシング、エコーキャンセレーション、オーディオイコライゼーション、ダイナミックノイズリダクション、オートゲインコントロールなどから構成されている。

この技術により2個のワイヤレスマイクと1個の本

体内蔵マイクで同時に会話ができるようになっている。それぞれのマイクの音声をデジタルミキシング技術で統合し、最適なバランスに自動調整することにより、参加者全員の声を通話の相手に届けることができる。

今回のニューモデル VCS702J を新たにラインナップに加え、エリスステーションシリーズは全部で3モデルとなる。オフィスの回線環境や会議室の大きさ、また会議の方法や使い方に合わせて選べる。

すでに販売中のエリスステーション「VCS704J」では4個のワイヤレスマイクを標準で搭載し、中規模の会議室を中心に多くのオフィスで導入されているが、一方で、小規模の会議室や発言する人数が少ない会議などでは4個のワイヤレスマイクは十分すぎるとの声もあった。

そこで今回発表された VCS702J。ワイヤレスマイクの搭載数を2個にし、デザインを一新するとともに導入しやすい価格帯に設定し、会議室の大きさにあわせて最適なモデルを選択できるようにした。

オフィスの回線環境や使い方に合わせて選べる
3種類の

ErisStation

 <p>VCS702J</p> <p>アナログ</p> <p>2 ワイヤレスマイク</p> <p>ハドルームや スモールオフィスに最適</p>	 <p>VCS704J</p> <p>アナログ</p> <p>4 ワイヤレスマイク</p> <p>さまざまな会議室に対応する スタンダード モデル</p>	 <p>VCS754J</p> <p>SIP</p> <p>4 ワイヤレスマイク</p> <p>SIP対応のIP電話機 PC接続でWeb会議にも</p>
--	---	--

エリスステーションシリーズでは3モデルを提供
(フェニックスエンジニアリング)

フェニックスエンジニアリングは、1972年の設立以来、大手一流メーカーの音響機器、通信機器の商品開発および設計のスペシャリスト集団として常に新しい技術の開発に取り組んでいる。また、映像機器、産業機器などの総合エレクトロニクス分野、マルチメディア

ア時代に向けた商品や技術の開発など幅広い分野の事業を展開している。

主な製品仕様	VCS702J	VCS704J	VCS754J
接続回路	アナログ電話回路	アナログ電話回路	IP回路 (SIP)
回路コネクタ	RJ-11 (アナログ回路 6極2芯)	RJ-11 (アナログ回路 6極2芯)	RJ-45 (Ethernet)
通話音声 最大帯域	3.4 kHz	3.4 kHz	7 kHz (ワイドバンド)
会議規模 (参考)	小会議室 (5~10人程度)	中会議室 (10~20人程度)	中会議室 (10~20人程度)
マイク数	ワイヤレスマイク	4	4
	本体内蔵マイク	2	2
ワイヤレスマイク無線周波数帯	1.9 GHz DECT準準	1.9 GHz DECT準準	1.9 GHz DECT準準
本体寸法 (mm)	282 × 274 × 60	273 × 343 × 68	273 × 343 × 68
ワイヤレスマイク寸法 (mm)	46 × 76 × 25	46 × 69 × 24	46 × 69 × 24
製品重量 (本体+ワイヤレスマイク)	約0.95 kg	約1.1 kg	約1.1 kg
PC用スピーカー-マイク機能	—	—	○

エリスステーション仕様表
(フェニックスエンジニアリング)

■フューチャート：ビズプラ採用管理のWEB面接機能に、最大100人まで参加できるWEB会議の新機能を搭載

(10月17日)

株式会社フューチャート (<http://www.fuchart.com/>) (東京都中央区) は、アルバイト・派遣社員用の採用管理システム「ビズプラ (bizpla) 採用管理」のWEB面接機能に、最大100人まで参加できるWEB会議の新機能を搭載し、10月17日に提供開始する。

この新たに提供開始するWEB会議機能は、一つの通話で最大100人まで参加できるようになっている。PC画面上には最大25人の顔を映し出せるため、多くの参加者の顔を見ながらライブ感のある会話が行える。1対多のグループ面接、複数人数での社内外の会議、会社説明会、仕事説明会、セミナーなどをオンライン上で簡単に実施することができるようになる。

特長としては、使用にあたって、一般的なビデオチャットにあるような会員登録や友達情報登録などは必要なく、メールに記載されたURLをクリックし、アプリを入れる許可画面にOKすれば簡単に使用することができる。

また、一般的なビデオチャットを使ってみた不満で

一番多いのは通信の不安定さという。この機能では、長時間使っても、途中で画面がカクカクとまったり、声が途切れたりしない安定性と高品質性がある。

フューチャートは、RPA (ロボティクス・プロセス・オートメーション) 技術による人材採用・定着のためのクラウドシステム bizpla(ビズプラ)サービスを提供している。

■サンワサプライ：大人数でのテレビ会議に最適な左右150度のワイドレンズを搭載したWebカメラを発売

(PR TIMES：10月12日)

サンワサプライ株式会社 (<https://www.sanwa.co.jp/>) (岡山市北区) は、大人数でのテレビ会議に最適な超広角レンズのWebカメラ「CMS-V43BK」を発売した。標準価格は10,584円(税抜き9,800円)。

各種ビデオチャットに対応しており、本格的なテレビ会議システムなどを導入することなく、本製品を用意するだけで手軽にテレビ会議を開催できる。



CMS-V43BK(サンワサプライ)

CMS-V43BKは、左右150度の超広角ワイドレンズを搭載しており、幅広い範囲を撮影することができるようになっている。従来の製品では映しきれなかったカメラ付近や左右の奥行きをしっかりとカバーするため、大人数のテレビ会議に最適としている。

また、100万画素CMOSセンサーを搭載し解像度は最大1280x720ドットのハイビジョン画質に対応、F

値が 1.75 の極めて明るいレンズを使用しているため、人物の表情が分かりやすく鮮明な映像を撮影できる。大きなサイズのことを撮影しながら検討したい場合や、部屋の監視・定点観測などにも便利という。

本製品はカメラ本体にマイクを内蔵しており、別途スピーカーを用意するだけでビデオチャットが行える。また、USB ビデオクラスを採用しているためドライバーが不要、パソコンの USB に接続するだけで使用できるようになっている。

カメラにはノートパソコンや液晶ディスプレイのベゼル部分に取り付けられるスタンドが付いている。さらに三脚用の穴が開いているので、市販のカメラ三脚やスタンドなどに取り付けて好みの角度から撮影することも可能となっている。

本体の大きさは W115×D25×H33mm(スタンドを除く)。重量は 140g。

ビジネス動向-国内

■シスコ：ビデオ会議ソリューションにソニー製カメラを採用

(10月16日)

シスコシステムズ合同会社 (<https://www.cisco.com/jp>) (東京都港区) とソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ株式会社 (<https://www.sony.co.jp/>) (東京都港区) は、シスコビデオ会議ソリューションへのソニー製カメラの採用に合意。シスコは、カメラ分離型 HD ビデオ会議ソリューションを 12 月から発売する。

シスコのビデオ会議ソリューション「Cisco TelePresence」は躍動感がある高精細ビデオとクリアで立体感がある高音質オーディオによって、臨場感にあふれたフェイスツーフェイスの体験を提供できる。

今回、「Cisco TelePresence」の商品構成の中の「Cisco Webex Room Kit シリーズ」に、ソニー製カメラを採用し、より高画質で臨場感のあるスマートなビデオ会議

環境を実現するとしている。

また、シスコは、今回発表した、「Cisco Webex Room Kit シリーズ」をはじめとした、ソニー製カメラを搭載したビデオ会議ソリューションのラインナップを、日本国内での販売展開に加えアジア市場での提供も開始する。

両社は、安全かつ円滑なコミュニケーションを実現し、業務効率を高めるソリューションとして、今回の採用を発表した。

今後はビデオ会議システムでの技術や商品力の融合により顧客へより効果的なソリューションを提案できる協力関係を検討していくという。

ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ (SIPS) は、民生用カメラ事業および放送業務用機器事業、メディカル事業、FeliCa 事業を担う、ソニー株式会社 100%出資子会社。

■ソニービジネスソリューション：シスコのマスターリセラーパートナー、「シスコ コラボレーションソリューション」の取り扱いを開始

(10月25日)

ソニービジネスソリューション株式会社 (<http://www.sonybsc.com/>) (東京都港区) は、シスコシステムズ合同会社 (<https://www.cisco.com/jp>) (東京都港区) のマスターリセラーパートナーとして「シスコ コラボレーションソリューション」の取り扱いを開始する。販売は 12 月から。

ソニービジネスソリューションではこれまでソニー製ビデオ会議システムを中心に販売を行ってきたが、今回の提携により、ソニー製ビデオ会議システムに加え、シスコが提供する「Cisco WebEx」ブランドのビデオ会議システムやクラウドサービスの取り扱いを開始する。

ソニーとシスコ両社によりそれぞれの製品群の相互

接続性の検証を行い連携することで、より幅広いソリューションを提供できるようになる。ソニービジネスソリューションとしては、コミュニケーションの在り方が多種多様の広がりを見せる中、ユーザのニーズに合わせて利用できるソリューションの拡充を目指し今回の販売開始に至った。

PR

(広告掲載順)

■ヤマハ株式会社

USB スピーカーフォン FLX UC 500

https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/flx_uc_500/index

セミナー・展示会情報

<国内>

■ブイキューブセミナー情報 (11月～12月)

「働き方改革セミナー 失敗しない「Web会議」「テレビ会議」選び方徹底解説」「<スマートグラス体験セミナー>ハンズフリーで現場作業を遠隔支援!」「2分でかんたん動画作成 社内動画活用で働き方改革を推進!」など
会場 (東京・大阪・名古屋・福岡・Webセミナー)

詳細・申込: <https://jp.vcube.com/event/all>

■手軽にはじめられるテレビ会議・Web会議システムのご紹介～RICOH UCSで、いつでも・どこでも、だれでも・だれとでも繋がります!～

日時: 11月15日(水) 午後 1時間のセミナーを2回開催 (同内容加)。

会場: リコージャパン 晴海トリトン事業所

主催: リコージャパン株式会社

詳細・申込:

<http://www.ricoh.co.jp/event/seminar/18S026.html>

■<Cisco協賛>Meetings・Teamsがわかる!

なるほど「Cisco Webex」まるわかりセミナーを開催します!

日時: 11月20日(火)・21日(水)・22日(木)
15:00～

会場: VTV ジャパン デモルーム (東京・大阪)

主催: VTV ジャパン株式会社

詳細・申込: <https://www.vtv.co.jp/seminar/1811vtv/>

■手軽にはじめられるテレビ会議・Web会議システムのご紹介～RICOH UCSで、いつでも・どこでも、だれでも・だれとでも繋がります!～

日時: 11月29日(水) 午後 1時間のセミナーを2回開催 (同内容加)。

会場: リコージャパン 晴海トリトン事業所

主催: リコージャパン株式会社

詳細・申込:

<http://www.ricoh.co.jp/event/seminar/18S074.html>

国内その他: <http://cna.jp/cna/event-j.html>

海外その他: <http://cna.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。
CNA.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回 (プレスリリースと取材に基づく記事) ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック (遠隔会議&UCトレンドワッチ)

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter (CNA レポート・ジャパン)

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト (dtc-forum)

<http://cna.jp/cna/dtcforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

■PDFファイル版（1号毎PDFファイル）

>2003年～2018年最新号（1号毎PDFファイル）

<http://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

■電子ブック版（複数号まとめているものもあります）

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2017年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2018年10月31日号おわり

ホームページ: <http://cnar.jp> お問い合わせ: cnar@cnar.jp